

消化器外科 2017 年診療実績

主に県下におけるがん拠点病院としての役割と、県民医療の最後の砦となる、高度救命救急センターとしての役割を担っています。2017年の手術症例の内訳は、予定手術以外の緊急症例が全症例の24%を占め、市中の他の拠点・中心的病院に比べ、緊急手術の比率がかなり高いと思われます。対象患者の各種併存疾患(脳・血管疾患、循環器疾患、糖尿病など)保有率や高齢化率が高く、高リスク(患者因子、高緊急比率)状況下での診療は年々厳しいものとなっています。センター化に伴い、3グループ(1.上部消化管、2.下部消化管、3.肝胆膵)でこれらに対応し、専門性、標準化を重視しつつ、低侵襲、緻細な鏡視下手術などを施行しており、ロボット支援手術などの高度先進医療にも取り組んでいます。直近3年間の総手術件数は、2015年:1,645例、2016年:1,648例、2017年:1,620例でした。2017年度の紹介率は90.8%、逆紹介率は259.6%、平均在院日数は12.2日と、良好な結果でした。最新のDPCデータ(2016年度)にて主要疾患の症例数と在院日数の全国ランキングをみると、肝切除術(2区域以上)の在院日数は全国1位、腹腔鏡下胆嚢摘出術(胆嚢炎)の症例数は全国3位など、全国有数の成績を示しています。

(1) 上部消化管(食道、胃、十二指腸)グループ

食道疾患(癌、その他)、胃疾患(胃癌、胃・十二指腸潰瘍など)を対象としています。安全性の確保、進行胃癌に対する化学療法、鏡視下手術の導入、緩和ケア・地域連携の促進は順調に進んでいます。一方、近年急速に広まり社会からのニーズも高くなってきた低侵襲(腹腔鏡〔補助〕下)手術については食道癌も含め積極的に施行しています。胃悪性腫瘍全体としての手術症例数は過去3年で、180例、176例、148例でした。胃悪性腫瘍の鏡視下手術の割合は、2015年:101例(56.1%)から、2016年:105例(59.7%)、2017年:105例(70.9%)と増加しています。

(2) 下部消化管(小腸、大腸、肛門)グループ

主に大腸癌(結腸癌・直腸癌)、腸閉塞、炎症性腸疾患、肛門疾患(痔核など)を対象とし、近年積極的に低侵襲(鏡視下)手術に取り組んでいます。大腸悪性腫瘍手術症例数(鏡視下手術例・頻度)は、2015年:293例(257例:87.7%)、2016年:256例(217例:84.8%)、2017年:307例(273例:88.9%)、と手術症例数を維持し、鏡視下率もほぼ上限に達しています。また、肛門括約筋機能温存術の適応拡大、術後合併症の更なる減少にも取り組んでいます。

(3) 肝胆膵(肝臓、胆道、膵臓、脾臓)グループ

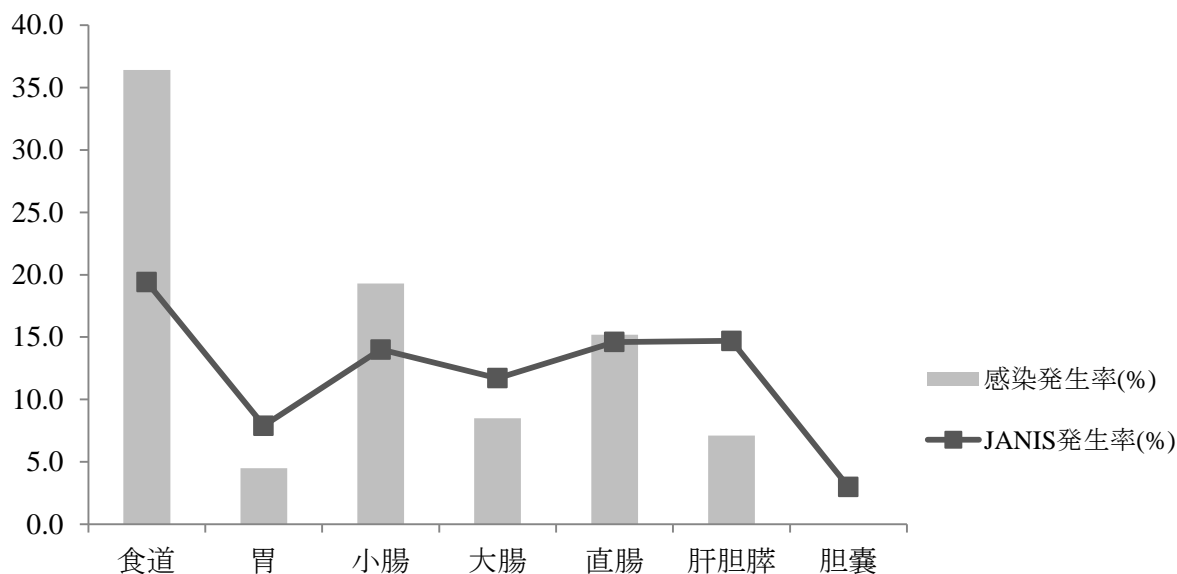
肝臓(原発性、転移性)、胆道癌、膵癌、胆石症、脾腫などを対象とし、毎週内科・放科・外科・病理の合同症例検討会を開き、手術適応の検討や、術後病理対比などの分析をしています。肝胆膵領域の悪性腫瘍は切除しなければ予後は1年以内である事も多く、根治性と手術侵襲のバランスが重要です。2017年の手術症例数は、肝切除102例、膵頭十二指腸切除51例、膵尾側切除9例でした。胆石、胆嚢炎手術の過去3年間、2015年、2016年、2017年の手術症例数は、252例、318例、287例で、全国でも有数の手術件数です。鏡視下手術は従来からの胆嚢、脾臓以外でも、腹腔鏡下肝切除術、膵切除術を導入し、良好な結果が得られています。

(4) 鼠径部ヘルニア手術の2017年の手術症例数は、246例でした。

<SSIサーベイランス>

下記のごとく食道以外は全国平均と比較して良好でした。

	食道	胃	小腸	大腸	直腸	肝胆膵	胆嚢
感染発生率(%)	36.4	4.5	19.3	8.5	15.2	7.1	0.0
JANIS 発生率(%)	19.4	7.9	14	11.7	14.6	14.7	3



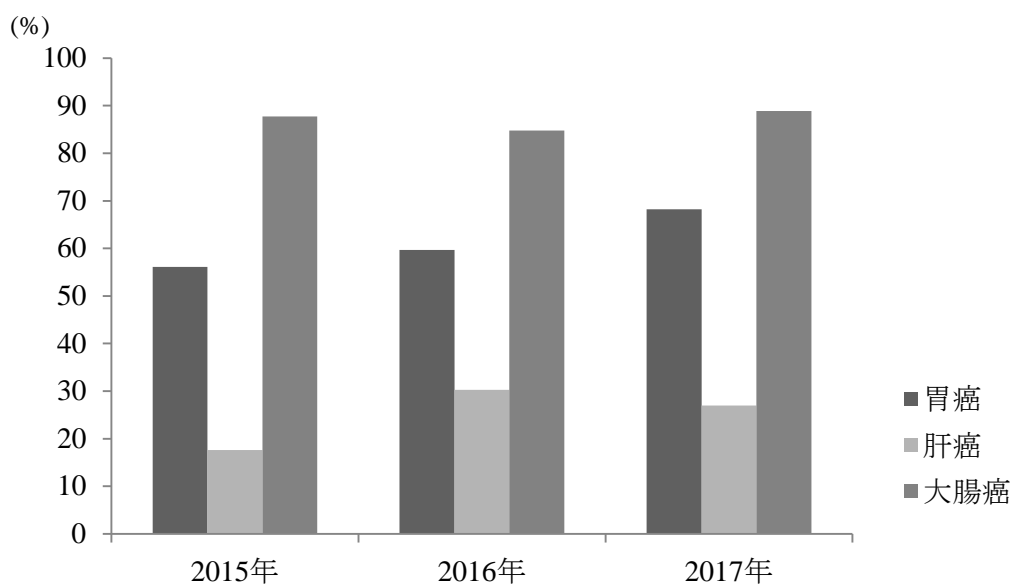
■ 手術件数

	合計	開腹(胸)	鏡視下	その他
食道癌	14	1	13	0
胃癌	132	42	90	0
胃間葉系腫瘍	16	1	15	0
胃十二指腸潰瘍	25	24	1	0
小腸閉塞穿孔	79	75	4	0
肝細胞癌	46	40	6	0
肝内胆管癌	8	5	3	0
転移性肝癌	20	9	11	0
肝門部胆管癌	8	8	0	0
中下部胆管癌	12	12	0	0
胆嚢癌(肝切除あり)	8	7	1	0
膵癌	42	42	0	0
膵良性腫瘍	3	2	1	0
膵炎等	8	8	0	0
胆石症	287	7	280	0
摘脾	3	2	1	0
結腸癌	196	19	177	0
直腸癌	111	12	96	3
大腸穿孔虚血	78	51	27	0
人工肛門造設(穿孔除く)	17	17	0	0
人工肛門閉鎖	14	14	0	0
虫垂炎	68	52	16	0
鼠径部ヘルニア	246	0	12	234
中心静脈ポート設置	53	0	0	53
その他	126	75	31	19
合計 (NCD 数:1,566 例)	1,620	525	785	309

■ 全国 DPC ランキング(2016 年度)

	症例数	在院日数 (合併症率)
腹腔鏡下胃切除術 DG	7 位	34 位
肝癌(区域切除まで)	37 位	11 位
肝癌(2 区域以上)	26 位	1 位
膵癌(PD、DP)	39 位	8 位
胆道癌(PD、肝切)	12 位	19 位
腹腔鏡下胆嚢摘出術	3 位	8 位
腹腔鏡下結腸切除術	11 位	15 位
腹腔鏡下直腸切除術	14 位	21 位
鼠径ヘルニア	7 位	375 位

■ 鏡視下手術の割合



■ 疾患別入院患者数

疾患名	患者数
食道癌	47
胃癌	163
胃間葉系腫瘍	16
肝細胞癌	47
肝内胆管癌	8
転移性肝癌	27
胆嚢癌	16
胆管癌	20
十二指腸癌(腺腫、NET)	18
膵癌	42
膵腫瘍(IPMN、NET)	17
結腸癌	207
直腸癌	136
小腸・結腸・直腸腫瘍	7
悪性リンパ腫	18
胆石・胆嚢炎	261
胆嚢ポリープ・腺筋症	24
膵炎	19

疾患名	患者数
上部消化管穿孔	18
下部消化管穿孔	45
腸管虚血	10
腸閉塞	78
結腸憩室炎	22
虫垂炎	68
人工肛門形成状態	14
肛門疾患(直腸脱を含む)	13
鼠径部ヘルニア	229
ヘルニア(その他)	49
外傷	9
食道・胃(その他)	10
肝・胆(その他)	16
小腸・結腸・直腸(その他)	36
炎症性腸疾患	4
その他	90
合計	1,804

■ 全死亡例及びその死因

病名	死因	死亡 症例数	術後 30日以内
食道癌	原疾患	3	0
	ARDS	1	1
胃癌	原疾患	1	0
胃悪性リンパ腫	原疾患	1	0
上部消化管穿孔	原疾患	1	0
下部消化管穿孔	原疾患	5	4
結腸癌	誤嚥性肺炎、ARDS	1	1
直腸癌	原疾患	3	0
	穿孔、心不全	2	0
腸管壊死	原疾患	2	1
	誤嚥性肺炎	2	0
肝細胞癌	出血、肝不全	1	0
転移性肝癌	原疾患	1	0
肝門部胆管癌	心筋梗塞、肝不全	2	1
胆嚢癌	原疾患	1	0
膵頭部癌	原疾患	2	0
	消化管出血	1	0
膵尾部癌	上部消化管穿孔	1	1
イレウス	誤嚥性肺炎、DIC	3	2
合計		34	11